

あさかわせんじょうちいせきぐん

浅川扇状地遺跡群現地説明会資料

(一財) 長野県文化振興事業団

長野県埋蔵文化財センター

1. はじめに

長野県埋蔵文化財センターでは、都市計画道路高田若槻線の建設（県長野建設事務所事業）に伴い、平成 23 年 4 月から浅川扇状地遺跡群の発掘調査を行っています。平成 26 年度までの発掘調査では、弥生時代から平安時代の^{たてあなじゅうきよあと} 竪穴住居跡約 200 軒を中心に、弥生時代後期末～古墳時代初頭の^{ほうけいしゅうこうぼ} 方形周溝墓、古代～中世の^{どこうぼ} 土坑墓、中世の堀跡など様々な遺構がみつかっています。

2. 今年度調査の概要

所在地 : 長野市桐原 2 丁目

調査面積 : 約 4,020 m² (表面積)

調査期間 : 平成 27 年 4 月 8 日
～11 月 30 日(予定)

今年度の調査で発見されたもの :

- 遺構
- ・ 竪穴住居跡 3 軒
(古墳時代 2、弥生時代 1)
 - ・ 方墳 3 基
 - ・ 溝跡 8 条
(古墳時代 6、中世以降 2)
 - ・ 土坑約 70 基 (古墳時代～中近世)

遺物 弥生時代後期の土器、古墳時代前期～中期の^{はじき} 土師器・^{せきせいもどうひん} 石製模造品、中近世以降の^{とうじき} 陶磁器・「泥めんこ」などの土製品。



遺跡の南上空から今年度の調査地を望む
(写真中央は、4 月～6 月の調査地)

3. 説明会の見どころ

説明会では、桐原地区で発掘されたばかりの古墳時代の竪穴住居跡、まとめて確認された古墳（方墳）を現地公開します。古墳の周溝部分は、大きなもので幅 180cm ほどあります。また出土品では、古墳時代に使われていた^{かめ たかつき} 甕や高坏などの土師器や鏡形をした石製模造品、江戸時代以降に使われたとみられる「泥めんこ」などを展示します。

現地公開：

古墳時代前期前半の古墳群を発見！！(今から約 1700 年前ころ)

今回、現地公開する地区では、古墳時代の住居跡 2 軒がみつかっています。住居跡の北辺にはカマドがあり、床付近には押しつぶされた状態の土師器の甕や、完全な形に近い坏などが出土しています。また、この地区には古墳時代前期前半（約 1,700 年前）とみられる古墳（方墳）が 3 基みつかっています。昨年の調査で発見された 2 基を合わせると 5 基の古墳が南北方向に並んで造られていたこととなります。現在は墳丘部分がなくなっていますが、そのまわりの周溝部分が明瞭に残っています。周溝の大きさは、外側で約 18m あります。整然と並ぶ方墳のようすから、この地域を治めたであろう有力者が、少なくとも 5 代にわたり、この地に埋葬された可能性が考えられます。



古墳の周溝の土器発掘状況

出土品展示：

古墳時代の土器(今から約 1700～1300 年前ころ)

今年度は、古墳時代の重要な遺構が発見されていることから、最新の出土品と合わせ、過去の調査で出土した古墳時代の遺物を中心に展示・公開します。

甕や坏などの日常の生活で使われていた器、高坏や小形丸底土器などの祭りに使われたであろう器、さらには鏡形をした石製模造品について、簡単な説明も行います。

この機会に、地域の貴重な文化財を、ご覧ください。



これまでに出土した古墳時代の土器

長野県埋蔵文化財センター
〒388-8007 長野市篠ノ井布施高田 963-4
TEL(026)293-5926 FAX(026)293-8157
E-mail info@naganomaibun.or.jp

インターネット（最新の情報はこちらから）

長野県埋蔵文化財センター

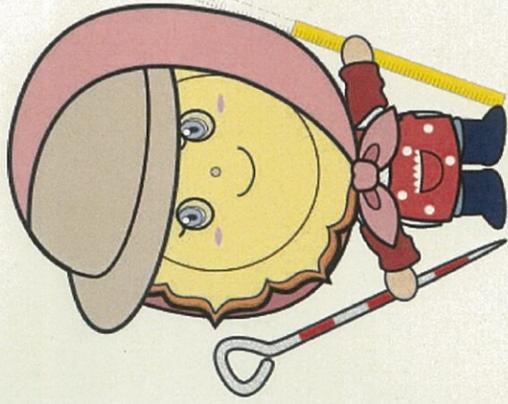
検索

<http://naganomaibun.or.jp/>





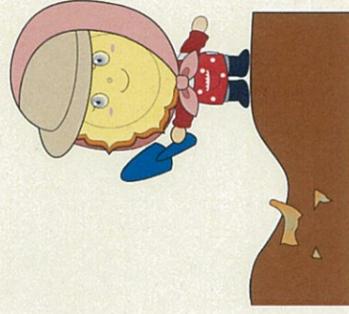
遺構分布図



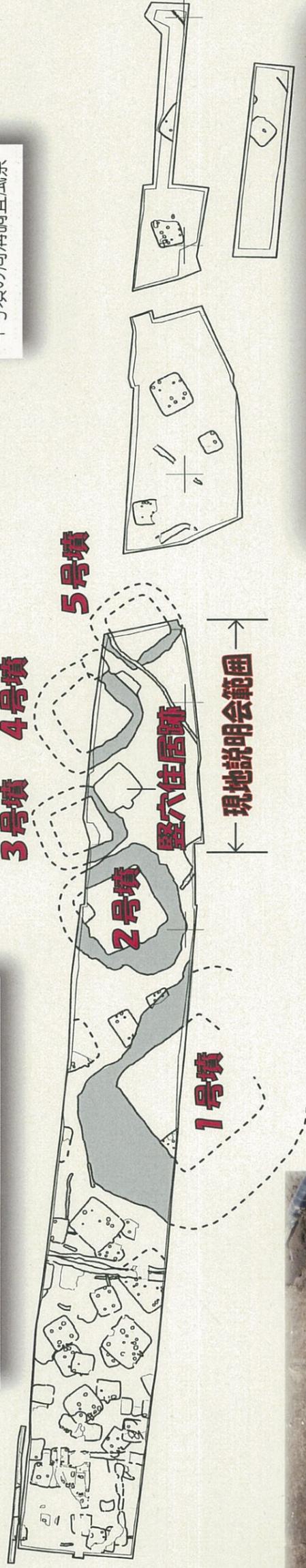
かがみちゃん



古墳時代竪穴住居跡の床から出土した土師器はしき



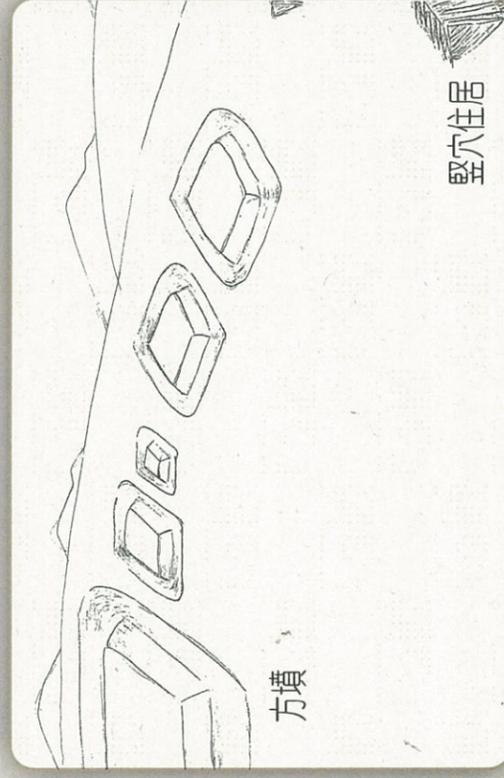
4号墳の周溝調査風景



カマド内からまとめて出土した土師器



発掘作業を
のぞいてみました!!



方墳

竪穴住居

古墳群の想像図

0 (1:800) 20m